

暑い夏を乗り切る暑熱対策

複数の対策の組み合わせで快適に！

夏前から早めの暑熱対策が重要です！

表1 肉用牛の適温域と生産環境限界温度

	適温域 (°C)	生産環境 限界温度(°C)	小山市の 日最高気温	
		高温	月	(°C)
哺乳子牛	13~25	32	6	26.3
育成牛	4~20	32	7	30.2
繁殖牛	10~15	30	8	31.5
肥育牛	15~25	30	9	27.5

夏季の暑熱によって、

○採食量の低下
= 発育・増体の停滞

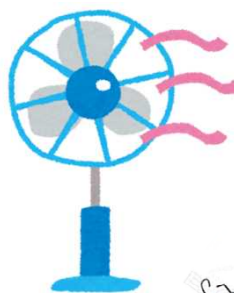
○繁殖性の低下
など生産性が低下します

1

畜舎環境の対策

① 扇風機等での送風

- 一方向に空気が流れるように扇風機の向きを工夫する
- こまめにファンを掃除する
- 首から肩に風が当たるようにする



風速2m/秒以上あれば、気温30°Cでも快適！吸血昆虫（アブやサシバエ）の被害も抑制できます！



② 屋根に石灰・断熱塗料等を塗布

- 石灰を塗布して約5°C、畜舎内温度が低下した事例も。
- ※作業する際は、屋根から落ちないように十分気を付けて！



(屋根への石灰吹きつけ)

③ 屋根に散水

- 屋根が熱くなる前に行うのが効果的！

④ 直射日光の侵入防止

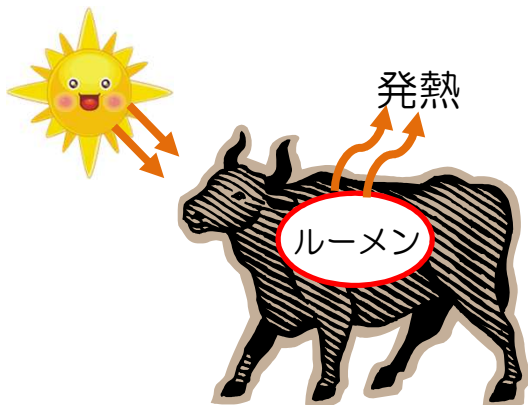
- 遮光ネット、よしず、緑のカーテンを南・西に設置

肉用牛の暑熱対策

夏バテさせない飼養管理を！

2

飼養管理の対策



暑熱が牛に与える影響

体温の上昇……………対策①②

飼料摂取量の低下…対策③

繁殖性の低下……………対策④

体温上昇は飼料摂取量の低下や繁殖性の低下につながります。牛の様子を観察し、以下の対策をしましょう！

対策① 体温の上昇を抑える

- 涼しい時間帯にエサやり
- 少しずつこまめにエサやり
- ワラ等は5cm程度に細断

対策② 冷たい水を十分飲む環境作り

- 水槽・ウォーターカップのこまめな掃除

対策③ 飼料摂取量低下の改善

- 抗酸化物質の給与
- 塩や重曹で発汗・排尿で失ったミネラルを補給

対策④ 繁殖性低下の改善

- 発情発見器具の活用
- E T（受精卵移植）の活用など

配合飼料の選び食いでルーメンアシドーシスになりやすい時期です。
対策①をぜひ実践してください！
また、対応策として、エサとは別に重曹(100~200g/日)を飼槽に置いてなめさせることも効果的です。

